

下越の国有林における取組

—令和7年度—

下越森林管理署



- 新潟地域民国連携関係者打合せ会議
- 市町担当者等を対象としたドローン操作体験会
- 市町担当者等を対象とした現地見学会
- 地上型レーザースキャナ「OWL」(アウル)を活用した調査検討会、操作体験会
- 林道改良工事(橋梁塗装工)の施工対応
- 野生鳥獣被害対策
- 相続土地国庫帰属制度の申請状況
- 高校生の体験林業

■新潟地域民国連携関係者打合せ会議

民有林と国有林との一層の連携を図るため民国連携会議を開催(令和7年4月24日)

新潟県新潟地域振興局、津川地区振興事務所及び関係する7市町(新潟市、胎内市、新発田市、阿賀野市、阿賀町、五泉市、聖籠町)の林務担当者との打合せ会議を令和5年度から開催しています。

新潟県及び当署から令和7年度主要事業の概要説明を行ったほか、市町からは特に力を入れている取組について事例を紹介していただきました。なお当会議では市町担当者を対象に事前アンケートを実施しており、要望があった内容等を参考に、後日体験会や見学会を開催しています。



会議の様子

2. 現地検討会等の開催要望

下越森林管理署で開催してもらいたいこと	
<input checked="" type="radio"/> あり	・なし
「あり」→具体的に教えてください(複数可)	
・一貫作業や列状間伐の現地検討会	
○3Dレーザーを活用した森林の蓄積調査の検討会	
・丸太採材技術の現地検討会	
○経験の浅い林業担当職員への主伐、間伐(選木)調査の実務研修会	
・経験の浅い林業担当職員への輪尺の使い方と、樹高の計り方	
○経験の浅い林業担当職員への樹木の名前を学ぶ勉強会	
○ドローンの操作体験会	
・コンパス測量の実務研修会	
○事業実施箇所の見学(伐倒・下刈・植付など)	
・その他	

事前アンケートの回答例

■市町担当者等を対象としたドローン操作体験会

アンケートの要望に応じて体験会を開催（令和7年7月8日）

管内林務担当者を対象としたドローン操作体験会を昨年度に引き続き開催しました。県・市町から5名の参加があり、当署職員4名とともに飛行ルール等の説明を受けた後、実際にドローン操作を体験してもらいました。

今後も関係機関との連携を図りながら、ニーズに応じた林務行政担当者の支援を継続して参ります。



機体の組立て実習



ドローン操作体験

■市町担当者等を対象とした現地見学会

アンケートの要望に応じて試験地等見学会を開催（令和7年7月14日）

県・市町等から15名の参加があり、森林総合研究所林木育種センターが行っている「積雪地域におけるコウヨウザン植栽試験地（7年生）」、当署が行っている「クマ剥ぎ被害箇所でのヒノキアスナロ植栽試験地（8年生）」、「下刈請負箇所（スギ植栽地3年生）」を見学し、現時点の生育状況等を見てもらいながら、今後の下越地域における森林施業方法等について意見交換を行いました。



コウヨウザン植栽試験地の見学



ヒノキアスナロ植栽試験地の見学

■ 地上型レーザースキャナ「OWL」(アウル)を活用した調査検討会、操作体験会

「新しい林業」の実現に向けた取組として、新潟地域で調査検討会（令和7年9月30日）、佐渡地域で操作体験会（令和7年11月6日）を開催

県・市町の林務担当者や林業事業者等（新潟地域46名、佐渡地域21名）が参加して、OWLを活用した調査検討会や操作体験会を開催しました。

当日は、当署職員による操作説明を受けた後、国有林や官行造林地内に設定した測定プロットにおいて、OWLの操作体験（両地域）、伐採立木の樹長計測データとの比較（新潟地域）、測定プロットのテープ標示や実測（佐渡地域）等を行い、質疑応答や意見交換を行いました。

また、新潟地域では、新潟県新潟地域振興局様と株式会社SOLABLEトレーニング様のご協力により、通信環境条件の悪い現場において、衛星通信サービスを活用して通信を確保できる「リアルタイムコミュニケーションシステム(SolaLink)」について説明・実演いただくなど、情報提供や様々な意見をお伺いする機会として行っています。

〔新潟地域〕



OWL 操作体験



伐採立木の樹長計測確認

〔佐渡地域〕



OWL 操作説明



OWL 操作体験（プロット内の実測）

林道改良工事（橋梁塗装工）の施工対応

システム吊足場の採用により作業効率が向上し、工程短縮・安全施工

赤谷林道（師走沢橋塗装工（橋長52m、高さ約50m）改良工事（新発田市滝谷山国有林）において、施工業者から提案のあったシステム吊足場「クイックデッキライト」（日綜産業(株)）を採用したことで、広い空間を確保でき、安全な施工環境の確保、工程短縮を実現することができました。

なお、このシステム吊足場については、林野庁工事で初めての採用となったことなどから、一部業界紙で紹介されました。



建設工業新聞（9/12）に掲載



師走沢橋の施工状況



完成状況

野生鳥獣被害対策

ニホンジカの生息状況調査、猟友会との捕獲協力協定に基づく対応

全国的にニホンジカ等の野生鳥獣の生息域が拡大し、食害等による被害が拡大しています。下越署においてもニホンジカの生息状況を把握するため、平成28年度からセンサーカメラによる調査を実施しています。

また、令和5年度に、ニホンジカによる農林産物への被害を防止するため（一社）新潟県猟友会北蒲原支部と捕獲協力に関する協定を締結し、期間を限定した立入禁止区域内での銃猟の実施や捕獲頭数、目撃情報の共有などを行っています。



子供2頭（令和6年7月撮影：五泉市）



国有林内での銃猟の様子

■相続土地国庫帰属制度の申請状況

令和5年4月の制度開始以降、11件の申請があり、うち3件が帰属

本制度は法務省が主管となり、令和5年4月27日から始まった制度です。相続等により土地を取得した者が法務局へ申請し、法務局がその申請地の性質に応じて種目（宅地、田畑、森林等）を審査・承認後、森林と判断された土地については森林管理局署等が実地調査を行い引き受けるか否かを法務局へ意見表明します。その後、法務局において森林として判断された土地は、土地の所有権が申請権者から国庫へ移り、森林管理局署等が管理します。

下越森林管理署管内では、制度開始以降11件の申請があり、そのうち3件（令和7年1月24日阿賀野市2件、令和7年10月20日新潟市1件）が森林として帰属されています。



阿賀野市 帰属森林



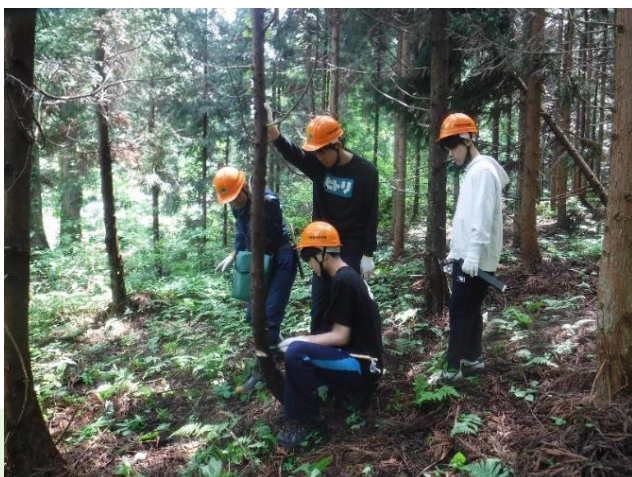
新潟市 帰属森林

■高校生の体験林業

森林環境教育の一環として、高校生を対象とした体験林業を継続実施（令和7年5月23日）

阿賀野市大室山国有林において、敬和学園高等学校の3年生21名を対象に体験林業を実施しました。この取組は平成3年度から継続しているもので、33回目となる今回は、スギ17年生の除伐2類作業を体験してもらいました。

森林整備作業の体験を通して、森林・林業に関心を持ってもらえるよう、今後も取組を継続していきます。



高校生によるスギ形質不良木の伐採作業